

「卒業年度プロジェクト(FYP)の実践報告」

-Higher Diploma Programmes 現代日語課程-

香港中文大學專業進修學院 (SCS)

講師 赤松麻子

発表概要

1. 本日の発表の目的
2. SCS現代日語課程について
3. 卒業年度プロジェクトについて
 - 1) 目的
 - 2) 昨年の進行
 - 3) 学生の活動内容の紹介
 - 4) 過去2年間の反省点と改善の取り組み
 - 5) 今後の課題

1. 発表の目的

2年間のプロジェクトの報告(問題点)

教師間ネットワーク

現場: 相違点の認識・問題点の共有

学習者間ネットワーク

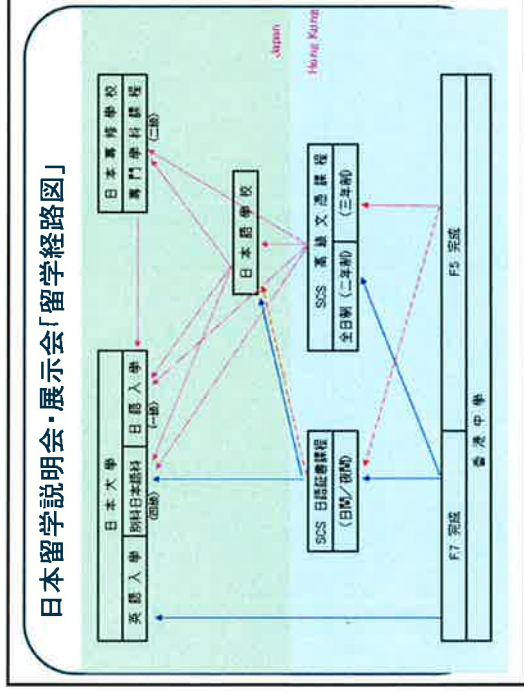
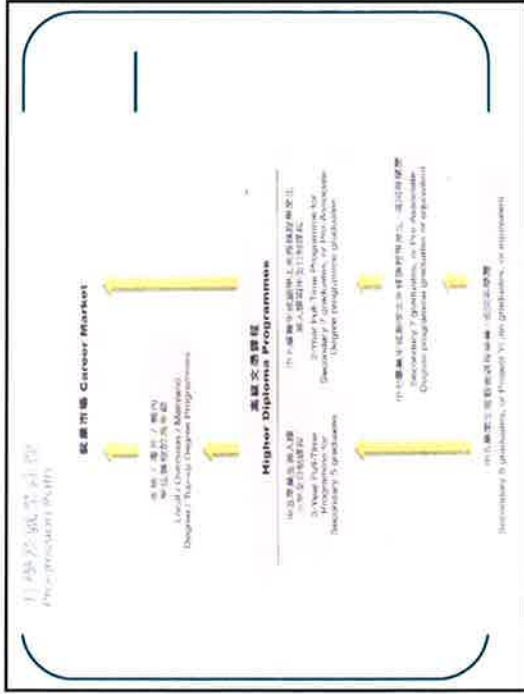
交流・日本語学習を有効に

2. SCSHD現代日語課程について

全日制 (3年制90単位/2年制72単位)

- ・日本語や日本文化について
- ・日本語・英語の能力
- ・個人またはグループの課題 ⇒ 問題解決能力

CUHKSCS 「Higher Diploma Programmes 2009-2010」 p.31



3. 卒業年度プロジェクトについて

- ・2年制、3年制の各卒業年度
- ・6単位(90時間相当)

Module Arrangement (HDCJ)

For 3-Year Programme student

Year 1 Semester A		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1100	Contemporary Japanese 1 (basic)	16

Year 1 Semester B		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1113	Contemporary Japanese 2 (intermediate 1): Reading and Writing Skills	6
JP1116	Contemporary Japanese 2 (intermediate 1): Speaking Skills	4
*JP1710	Selected Topics on Japanese Business Culture	2
GE 1415	Critical Thinking	1

Year 2 Semester A		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1123	Contemporary Japanese 3 (Intermediate 2): Reading and Writing Skills	6
JP1126	Contemporary Japanese 3 (Intermediate 2): Speaking Skills	4
JP1300	Japanese Oral Presentation 1	2
JP1350	Japanese Listening Skills 1	2
JP1400	Japanese Essay 1	2
EN1170	English Pronunciation Skills	1
*GE1120	English Reading and Writing Skills	4

Year 2 Semester B		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1130	Japanese Stylistics in Oral and Written Discourse	2
JP1140	School Grammar: Introduction to "Japanese Language"	4
JP1500	Japanese in Newspaper 1	3
JP1550	Japanese in TV Programmes 1	3
EN1110	English Oral and Listening Skills	3
*GE1610	Selected Topics on Hong Kong Culture	2

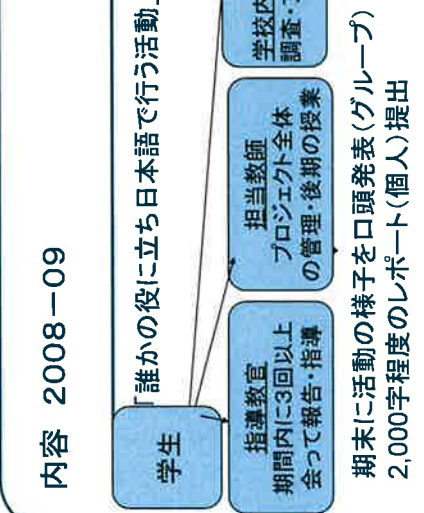
Year 3 Semester A		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1310	Japanese Oral Presentation 2	2
JP1360	Japanese Listening Skills 2	2
JP1410	Japanese Essay 2	2
*JP1700	Selected Topics on Contemporary Japanese	2
EN1130	English Grammatical Studies	3
*GE1700	Selected Topics on World History, Culture and Literature	2

Year 3 Semester B		
Course Code	Module Title	Credit Units
*JP1510	Japanese in Newspaper 2	3
*JP1560	Japanese in TV Programmes 2	3
JP1600	Introduction to Chinese / Japanese Translation	2
JP2000	Project (Communication / Interpretation)	6
EN1140	English Stylistics and Rhetoric	4
*GE1710	Selected Topics on Chinese History, Culture and Literature	2
*GE1730	Selected Topics on Japanese History, Culture and Literature	2

Remarks:
The above modules arrangement will be subject to change if deemed necessary.

Year 2 Semester A		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1115	Contemporary Japanese 1 (Elementary)	6
JP1116	Contemporary Japanese 2 (Elementary)	6
JP1117	Contemporary Japanese 3 (Elementary)	6
JP1118	Contemporary Japanese 4 (Elementary)	6
JP1119	Contemporary Japanese 5 (Elementary)	6
JP1120	Contemporary Japanese 6 (Elementary)	6
JP1121	Contemporary Japanese 7 (Elementary)	6
JP1122	Contemporary Japanese 8 (Elementary)	6
JP1123	Contemporary Japanese 9 (Elementary)	6
JP1124	Contemporary Japanese 10 (Elementary)	6
JP1125	Contemporary Japanese 11 (Elementary)	6
JP1126	Contemporary Japanese 12 (Elementary)	6
JP1300	Japanese Oral Presentation 1	2
JP1350	Japanese Listening Skills 1	2
JP1500	Japanese in Newspaper 1	3
JP1550	Japanese in TV Programmes 1	3
*GE1610	Selected Topics on Hong Kong Culture	2

Year 2 Semester B		
Course Code	Module Title	Credit Units
JP1130	Japanese Stylistics in Oral and Written Discourse	2
JP1140	School Grammar: Introduction to "Japanese Language"	4
JP1500	Japanese in Newspaper 1	3
JP1550	Japanese in TV Programmes 1	3
EN1110	English Oral and Listening Skills	3
*GE1610	Selected Topics on Hong Kong Culture	2



Remarks:
The above modules arrangement will be subject to change if deemed necessary.

目的

- ・各自の持つ言語知識や経験・技能・アイデアを活用
- ・グループ(3~5名)で協力して達成
(一人の学生も様々な人と係わって実施)
- ・予想できる困難点をあらかじめ考えたり、計画を修正、調整して対処する力を伸ばす。
- ・日本語力を総合的に上げる。

スケジュール (2008-9)

8/22	コース概要の説明・企画準備開始
~9/30	企画書をグループごとに提出
~10/17	指導教官から企画書の承認を得て活動開始
2/25	企画・中間発表①
4/1	中間報告②
5/15	個人レポート提出期限
5/22	プレゼンテーション(グループ)

2008-9 学生の活動 (7チーム、21名)

香港人中学生に日本語を教える
広東語の歌謡曲を日本語でカバーして紹介
香港人のここが変だと思ふことを意見交換し 絵本にする
中国のお化け文化、禁忌を紹介する番組を作る
香港の観光、歴史、面白い物、食を紹介するテレビ番組を作り、ブログで発表
飲茶のガイドブック作り
観光では行かない場所、安くておいしい香港の食べ物ブログで紹介する。

プレゼンテーション紹介 ビデオ

「飲茶の達人」(約20分)
+
試作品

4) 過去2年間の反省点①

「6単位分の活動になっているか疑問？」

「観光客が行かない香港の紹介」
企画・アンケート・撮影準備
撮影(3日)・編集・ブログ作成
ブログに録画アップ

「日本語を教える」
夏休み
2時間×10回(教会)

4) 過去2年間の反省点②

「活動の進行が遅れてしまう」

- 教師がなかなか製作物を見られない
- 活動が思わぬ方向に行っている場合、修正するのが大変・時期的にも遅い
- 学生も不安、教師に対する不満も。
- 改善してプロジェクトを完成・レポートやプレゼンの準備時間などがなくなる。

4) 過去2年間の反省点② 「進行が遅れる」例

例1

- 「香港人のここが変だと思ふことを
ブログで意見交換し、絵本にまとめる」
- 企画の時点で計画をもっと具体化すべき
経験がなく、想像がつきにくいものでも
仮の期限を設けるべき(→調整)
確認をしっかりと。

スケジュール
(何をいつま
でに・担当や
責任者など具
体的に)

郭：カラー、アニメの背景図、絵の二回目チェック
呉：キャラクターの設定、絵の初稿
マサ：絵の最終の修正、アニメの音声付け、台詞
薛：ストーリーの背景、アニメの背景ミュージック付け、WEBSITE
の製作

10月7日前に意見調査を完成し、どれをイラストに描くのか
選び、まとめる

10月18日までに イラスト1篇を完成する
サイトを作る(更新をつづける)

このステップを10回繰り返す、状況によって、イラストの篇
数が変わる。(この作業の作ることが慣れたら、早く完成でき
るかもしれない)

4) 過去2年間の反省点② 「進行が遅れる」例

例2 「飲茶のガイドブック

- 企画はかなり詳細
- 予定と実施事項、計画の修正などの
- 確認をこまめにすべき
- 現実的な計画か(調べたり専門家に聞く)

ル (何をいつまでに・担当や責任者など具体的に)

資料をまとめる

アイデアの相談

資料をまとめる

日本人中学生にインタビュー

企画書をまとめる

10月末まで:

- 資料を捜す
 - ◆ 写真を撮る
 - ◆ レストランの点心の注文表を取る
 - ◆ 人気があるレストランの資料 (所番地や電話番号やウェブサイトを)

11月末まで:

- 資料を捜す

4) 過去2年間の反省点③

「最終発表までに作品を作って披露することが目標になってしまう」

試作品 → フィードバック → ~~改善~~ → ~~完成~~

ガイドブックの印刷用紙を調べる

資料をまとめる

1 月 来年度: 資料をまとめる

2 月 来年度: ガイドブックのデザイン

3 月 来年度: ガイドブックにこの材料を買う

4 月 来年度: 試作品を先生方に配布

5 月 来年度: 先生方から意見をとり、問題点を改

6 月 来年度: ガイドブック (最終版) を作る

7 月 来年度: ガンケートを作る

8 月 来年度: ガンケートを配布

9 月 来年度: アニケートを配布

10 月 来年度: 経過報告を書く

11 月 来年度: アニケートを採集

12 月 来年度: プレゼンテーションを作る

個人レポートを書く

1 月 来年度: 個人レポートを作る

2 月 来年度: 個人レポートを書く

4) 過去2年間の反省点③例

番組を作り、ブログに載せて終わり？
本当にこれで日本人が行けるの？

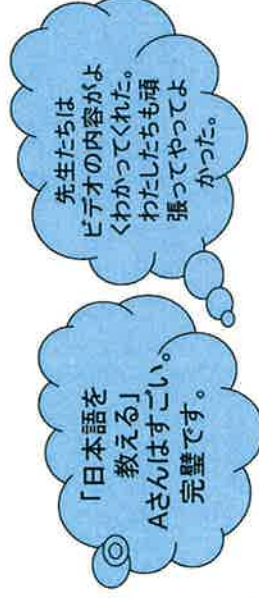
「観光ガイドに載っていない香港を紹介」

<http://arhktour.exblog.jp/i0/>

<http://blog.livedoor.jp/bakery4hk/>

4) 過去2年間の反省点④

学生自身の内省が進まない/失敗の意味



4) 過去2年間の反省点⑤

「日本語が総合的に上達しているのか？」

ブログで紹介

ガイドブック

広東語を使って初歩の日本語を教える

4) 過去2年間の反省点⑥

学生と教師コミュニケーション上のトラブル・誤解

例1 描くゴールや重要度の比重の違い

例2 「絵本」や「イラスト」の意味

例3 試作品

例4 「先生が自由にやらせてくれない」

「こんなに頑張っているし、発表では
他の学生に褒められたのに先生は
認めてくれない」

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

①各教科と連携の強化

- ・SCS HDCJスタンダードズの作成の試み
- どの教科でどんな能力を育てるか
- プロジェクトの時間は発表の準備に多くを取られるため。

HDCJスタンダードズ 二年制カリキュラム

総合的な到達目標(試案)

- ・「わたしの専門は日本語です」と臆せずと言える。
- ・日本語が、進学や就職の武器になる／役立つ。
- ・旅行などで使える最低限の日本語を、他の人に教えられる。
- ・卒業後も日本語の勉強を継続する意欲を持てる
- 自身で目標を決め、学習プランが立てられる
- ・能力試験二級に合格する。

HDCJスタンダードズ 二年制カリキュラム

表1

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

①各教科と連携の強化

- 学習進捗表の一覧で学生のスケジュール、学習事項を把握・科目間の連携
- 表2「2009-10 3年制前期学習予定表」

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

- ①各教科と連携の強化 まとめ
 - ・SCS HDCJスタンダーズの試作
 - ・学習進行表の一覧を活用

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

- ②プロジェクトの各段階を明確化
 - 計画
 - 実施
 - 試作品の展示
 - 修正・完成品の展示
 - 活動のまとめ(レポート・プレゼン)

いつまでに何が必要かわかる

→学生も具体的な予定を立てやすい
予定のずれも防げる

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

- ③活動を外に向けて常に発信
 - 直接会ってフィードバックをもらう
 - インターアクション・気づきの増加
 - ミスコミュニケーションや誤解が減る

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

計画	10月17日(土) 「企画のポスター発表」 多くの人に見てもらい、質問・感想をもらう ことで方向修正、企画内容を深める。
試作品	2月20日(土) 「作品展示会」 試作品を見せ、改善点を分析するのに役立てる。
修正 展示	4月17日(土) 「完成品の展示、上映」 プロジェクト活動のまとめ、自己評価に役立てる
まとめ	5月中旬 「最終プレゼンテーション」

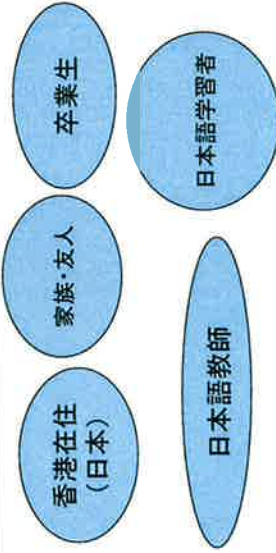
教師以外からのフィードバックを確保
気づきの機会の増加
ミスコミュニケーションや誤解が減る

4) 過去2年間の反省点

→改善の取り組み

- ①各教科との連携を強化
- ②プロジェクトの各段階を明確化
- ③活動を外に向けて常に発信

日本人 香港人



5) 今後の課題

- ・学生が必要な時に自由に使える
リソース作り
- ・ポートフォリオ(評価・学習のツールとして)
の(実現可能な)有効活用を目指す
- ・独自のコース評価の作成・
学生の意見を聞く
- ・卒業生に対する調査